

「仙台自立の家」運営団体に御下賜金伝達 仙台・障害者に就労の場

2025年2月26日 5:00 [有料]

文化・暮らし 仙台



伝達書を手にする松田理事長（右）ら

天皇陛下から社会福祉に貢献した民間施設に贈られる御下賜金（ごかしきん）の伝達式が25日、仙台市役所であった。障害福祉サービス事業所「仙台自立の家」を運営する社会福祉法人仙台市肢体不自由児者父母の会（青葉区）に、伝達書と金一封が贈られた。

仙台自立の家は1998年の開設。就労継続支援B型事業所として、現在は20～70代の利用者27人が野菜の水耕栽培や焼き菓子の製造販売などを担う。障害者の就労機会を確保し、社会的自立の支援に長年尽力してきた点が評価された。

郡和子市長から伝達書を受け取った松田広勝理事長（75）は「利用者のやりがいや幸福感を第一に考えて続けてきた活動が評価されてうれしい」と述べた上で「利用者の高齢化が課題だ。活動をサポートする人材の確保を図りたい」と先を見据えた。